

福島県立小名浜海星高等学校

漁業ガイダンスに船員を目指す 86 人が出席

6 月 9 日、福島県立小名浜海星高等学校で漁業ガイダンスが開催され、海洋科 2 年生 17 人、海洋科 3 年生 16 人、海洋工学科 2 年生 28 人、海洋工学科 3 年生 25 人の、計 86 人が出席し、就職先としての漁船や漁業会社の概要について見識を得た。

漁業ガイダンスは一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターが主催し、全日本海員組合も協力している。今回のガイダンスに参画した会社は、株式会社漁福、大洋エーアンドエフ株式会社、廣屋水産株式会社、鈴幸漁業株式会社、共同船舶株式会社、住吉漁業株式会社、共和水産株式会社の 7 社で、それぞれの会社が自社の概要や漁船漁業の魅力をアピールした。

ガイダンスでは、はじめに一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター事務局からの趣旨説明に続き、海員組合執行部から「船員を目指す生徒皆さんにとって、就職する会社、乗船する船はとても重要なことなので、各会社のブースでの説明を十分に聞いて、漁船漁業を知っていただき、就職する上での参考にしていただきたい。積極的に取り組んでください」と、生徒たちにエールを送った。

ガイダンスでは、参加生徒が 7 グループに分かれ、各漁業種の漁業の特殊性、操業形態、船内での生活や航海日数などについて、配布された資料の他、パソコンの映像を交えた説明があり、生徒からは、航海日数、船内生活、インターネット環境、給料、海技資格などの質問があり、会社側からは丁寧な説明があり、漁業ガイダンスを終えた。

福島県立小名浜海星高等学校

太平洋に面する福島県いわき市は東北の湘南とも言われる。いわき市の海の玄関として栄える小名浜港は、外国船・内航船・漁船など、さまざまな船舶が出入港し、貿易や流通業、水産業など、地域に根付く基幹産業を支える役割を担っている。この太平洋の波の音が響く一角に、福島県立小名浜海星高校がある。

「海員だより」